

III 研究部のあゆみ

1 研究主題

運動の楽しさや喜びを味わうための基礎的・基本的な資質や能力を育成する体育学習
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善「体づくりの運動」～

2 研究の構想

体育科における課題

- ① 習得した知識及び技能を活用して課題解決することができない。
- ② 学習したことを相手に分かりやすく伝えることができない。
- ③ 運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向に歯止めがかからない。
- ④ 子どもの体力低下傾向に歯止めがかかったものの、依然として低い。

新学習指導要領（平成29年3月公示） 体育科の目標

体育科において育成を目指す資質・能力

- 各種の運動が有する特性や魅力に応じた知識や技能を身に付ける。 【知識・技能】
- 自己の能力に適した課題をもち、活動を選んだ工夫したりする思考力・判断力・表現力等 【思考力・判断力・表現力】
- 運動の楽しさや喜びを味わい、明るく楽しい生活を営むための態度 【学びに向かう力・人間性等】

研究仮説

体づくり運動の学習を通して、主体的・対話的で深い学びの在り方を明確化し、授業改善の工夫を進めていけば、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって健康の保持増進や体力向上に取り組む児童が育つであろう。

目指す児童像

体力の向上について、心身ともに成長の著しい小学校時期を踏まえ、「体づくり運動」の学習を通じて、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、様々な基本的な体の動きを身に付けるようにするとともに、健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識できるようにする。

研究内容

- 1 主体的・対話的で深い学びを具現化する授業作り
 - 昨年度の研究で整理した視点を取り入れた授業を確実にやり、実践を積み重ねる。指導方法を工夫して必要な知識及び技能の習得を図りながら、子供たちの思考を深めるために発言を促したり、気付いていない視点を提示したりする等、学びに必要な指導の在り方を追究し、必要な学習環境を積極的に設定していく。それらの学習が展開される中で、着実な習得を促す学習が展開され、主体的・能動的な活用・探究的な学習が展開できるのではないか。
- 2 授業改善の工夫
 - 課題を解決するために押さえておくべき体育科授業のポイント
 - ① 安全面への配慮が十分ある。
 - ② 運動量が確保されている。
 - ③ できた・わかったなど技術面で向上が見られる。
 - ④ 仲間との関わり・協力が見られる。
 - 運動の特性や魅力を大切にしたカリキュラムづくりや教材の開発
 - 関わりを豊かにし、思考を深める一層の言語活動の充実

※ 次年度に向けて

- 遊びにつながる体育学習の創造
- 南那珂教科等研究会で授業発表